

---

## 加栄レース株式会社

認定テーマ名：ジャガード付きラッセル編み機を使用した、これまで市場化されていない「エコロジーレース製品」

### 1. 認定を目指した経緯

#### (1) 自社の課題解決

当時の事業は、レースカーテン等のインテリア製品とアパレル向け生地の本柱で構成しており、どちらも国内の繊維不況の中でも安定的な売上規模を維持していた。しかし、安価な海外からの輸入品に押され、国内生地を使用した製品の市場規模は年々減少してきており、将来のことを考え、付加価値の高い商品づくりを行っていかねば生き残れないと危機感を持っていた。

また、既存商品は、大手問屋や販社等を介しての下請け構造の販売であるため、利益率が低く抑えられてしまっていた。今後、利益率の高いビジネスモデルに変換していくために、自社ブランドを構築していきたいと思っていた。

#### (2) 地域資源活用認定事業者からの刺激

「地域資源活用プログラム」は平成19年度から始まっているが、取引のある桐生市内の企業数社が既に認定を取得し、活発に新事業展開の活動を行っているのを目の当たりにし、大きな刺激を受けた。

また、桐生市役所の担当者の指揮のもと、認定事業者や今後認定を目指そうとする事業者を一同に介し、情報交換や勉強を行う会を立ち上げようという動きもあり、そういった新たな取り組みを行う環境で活動を行っていききたいと思っていた。

### 2. 認定事業の現況

本事業を通じ、「Psyche」(プシュケ)<sup>1</sup>というブランド名で、ストレッチソファカバーと子供用ソファが完成し、現在は通信販売を中心に販路拡大を進めているところである。ストレッチソファカバーに関しては、実用新案の申請中である。当初の目的であった、地域の企業と連携しながら製品をつくり、自社ブランドを構築することができた。

---

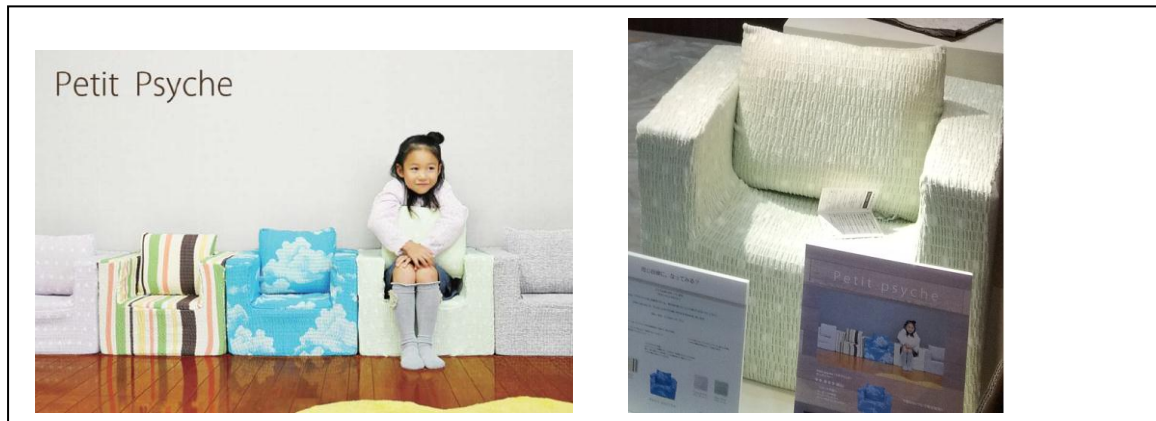
<sup>1</sup>「Psyche」(プシュケ)とは、ギリシャ神話の中で人間が紙になる女神のことである。のちにギリシャ語で、サナギから美しく変容する「蝶」や、変化していく成長していく「心」を意味すると言われている。(自社カタログより引用)

(1) Psyche (プシュケ) ストレッチソファーカーバー



特徴は、①180%以上の高いストレッチ性で、ソファーにぴったりフィットして、ズレにくい。②高比率の綿混合なので肌触りがよく、吸収性が高い。③抗菌防臭加工。④家庭で洗濯可能。自社の技術を集約したかのような商品である。特に、高比率の綿混合でありながら、高いストレッチ性を維持することは、簡単には真似できない技術である。

(2) Petit psyche (プチ・プシュケ) 子供用ソファー



子供の安全と座り心地を第一に考えた子供用ソファーである。そのデザイン性と可愛さは、「平成23年度グッドデザインぐんま」にも選定された。木枠や金属を一切使用せず、やわらかい素材のみで作られている。

3. 今後の展望（見通し）

(1) 既存商品の販路拡大

ストレッチソファーカーバーおよび子供用ソファーのサイズや仕様、柄といったラインナップの充実はもちろんのこと、業界を超えた販路拡大を目指していく。また、ソファーに生地を被せない国もあるなど文化の違いはあるが、受け入れられる国への輸出を目指していく。

(2) ブランドの確立

本事業を通じて、新たな商品の開発や販路開拓のノウハウを社内に蓄積することができたため、今後も引き続き、新商品の開発を推進し、Psycheの認知度向上および市場での定着化を図っていく。

#### 4. 利用した中小機構の支援策

ハンズオン支援事業（地域資源活用支援事業）を利用することで、新ブランドの構築促進や新規販路開拓が可能となった。平成 21 年度には、「地域の魅力セレクション 2009」の展示会に出展する等、毎年中小機構から紹介・案内のある展示会や各種ビジネスマッチング会へ積極的に参加することで、商品や同社の認知度向上につながった。

#### 5. 企業概要

事業者名	加栄レース株式会社		
本社所在地	群馬県広沢町 7-5281-1		
ホームページアドレス	<a href="http://www.kaei-lace.com">http://www.kaei-lace.com</a>		
設立年月	昭和 53 年 4 月		
資本金	10,000 千円	従業員数	24 名
売上高	700,508 千円（平成 23 年度）		

#### 6. 認定事業の概要

テーマ名	ジャガード付ラッセル編み機を使用した、これまで市場化されていない「エコロジーレース製品」の事業化
テーマの概要	ジャガード付きラッセル編み機を使用し、綿糸を用いた、複雑柄のインテリア製品を製造するという独自技術を有効活用し、これまで市場化されていない新しいタイプのエコロジーレース製品の開発、事業化を行う。
認定期間	平成 20 年 6 月 13 日～平成 25 年 3 月 31 日